

研究に関する公開情報

公立陶生病院では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけでしたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

[研究課題名] 当院における15年間の *Mycobacterium abscessus* の疫学的検討

[当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 長江 典彦

[研究の背景・目的]

近年非結核性抗酸菌症が増加してきております。これは結核の親類疾患であり慢性的に持続的に肺への障害を起こす感染症であり、抗生剤で難治性のため非常に治療に難渋する疾患です。すでに結核の患者さんの数を超えて大きな問題となりつつあります。非結核性抗酸菌症のなかで最も多いのは *M.avium* という菌ですが、近年増加が懸念されている菌体が *Mycobacterium abscessus* というものとなります。本菌は極めて抗生剤の反応が悪く、治療も世界的に確立しているものがなく、その疫学的なデータもまだまだ判明していないことが多いといわれます。

そのため今回、我々は当院における15年間の *Mycobacterium abscessus* の患者さんの臨床的なデータを収集し、病気の特徴や治療の効きやすさの違いなどが何によって起きているのかを検討いたします。

■研究の対象となる方

2010年から2025年に公立陶生病院で *Mycobacterium abscessus* 感染症と診断された方。

■ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生活環境、治療内容、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

■個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101 ファックス番号 0561-82-9139

研究代表者 呼吸器・アレルギー疾患内科 長江 典彦